

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響により、地域資源の活用が以前より少なくなっているという課題がある。初詣や運動会見学など地域資源の活用を少しずつ行い、無理のない範囲で行っている。	・地域の催し(老人会、サロン、文化祭など)への参加を行い、地域の中での自身を見つめなおし、社会参加を促す。	・地域の催しへの参加 ・地域の方をお呼びしての行事(防災訓練など)	12ヶ月
2	6	身体拘束廃止への取り組みは徹底し、身体拘束は全くやっていない。 また、日頃から事業所勉強会や法人勉強会で身体拘束廃止への理解を行い、3か月に一度の委員会も行き、情報を共有している。 こういった取り組みに対し、ご家族や地域へOUTPUTを推進する意味で、事業所の方針として、玄関に掲示した方が良い。	・外部の方からも事業所の取組がわかりやすいように、玄関での掲示などを検討し、実行する。  ・ご利用者に対しての広報誌等の掲示物は、車椅子入居者の目線でも見える高さに掲示する。	・身体拘束廃止、ハラスメント防止などの事業所で取り組んでいる事の掲示を行い、外部の方に取り組みを理解していただく。  ・ご利用者にとって見やすい高さ・位置に掲示物を掲示し、ご理解を得る。	6ヶ月
3	35	年に2回の災害避難訓練、1回の水防訓練や、消防署による立ち入れ調査、整備点検など滞りなく行い、ご利用者の安全管理に努力しているが、地域の協力を得るという意味での“地域と連携した活動”が行えていない。	・地域と連携して災害避難訓練などを実施できる。	・年に一度(4月)の災害避難訓練の際に、地域の方々に参加していただき、地域との連動した訓練を行う。	6ヶ月
4	36	夜間使用するポータブルトイレなどにつちては、クルスをかけるなどの工夫をし、ご利用者の尊厳に対する配慮を行う。	・トイレやパット等の管理に関して、ご利用者の尊厳を守る意味での働きかけを行う。	・ポータブルトイレを使用していない時にクロスをかける。 ・パットは箱などに詰め、外部から見えない様に配慮する。	6ヶ月
5	52	個人情報保護の観点から、玄関にある訪問者記録簿も個別記入が望ましい。	・面会、訪問者の個人情報を守られるような記録簿の作成	・個人情報保護のため、職員・業者以外の訪問者記録は個別の書式に作り変えて、実施する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。